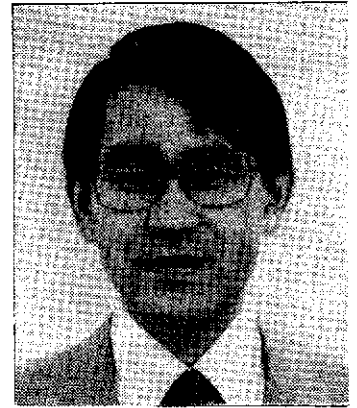


# みんなの 三丁目。





# 松葉町史は私達の歩み

松葉三丁目町会会長 溜川良次

松葉町は、昭和四十八年から日本住宅公団が進

めてきた区画整理によって誕生した街です。計画人口は約一万七千人。第一期の宅地分譲は、昭和五十五年の十一月でした。集合住宅の分譲も同年十二月から始まり、松葉町での人々の生活が始まりました。

三丁目町会の設立は、昭和五十六年十月。松葉中学校の西側に位置する全世帯・八世帯でスタート。名称も「松葉三丁目第一町会」でした。生活ゴミを出すためのゴミステーションの設置と防犯が、設立動機。初代会長の稲飯靖彦さんたちの苦労が、早速始まりました。おかげでゴミステーションも設置され、防犯灯も、ほとんどの電柱につけられました。

その後、希薄な人間関係を深め、将来を担う子供達のために「納涼会」が開かれるようになりました。松葉町地域の地区祭りの先駆けであり、第四公園には十品以上の模擬店が所狭しと並びます。準備には、たくさんの人達の苦労があります。しかし、「共同作業」は、隣とおしの輪を広げる結

果をもたらせました。

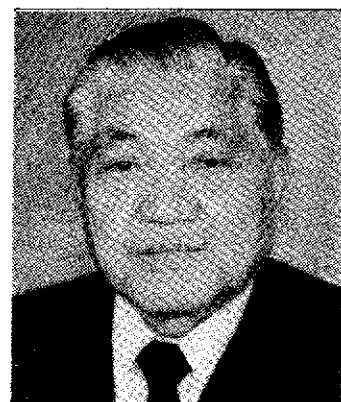
さて、五周年をむかえた今、三丁目町会も一つの転機の時機を迎えているかもしれません。町会の構成員のほとんどが、働きざかりの年代で、サラリーマンであることもあり、町会業務に時間を費やせないこと。世間一般に、自己の生活時間を第一に大切にしたいと考える傾向にあることなどから、町会の世話役のなり手探しに難しい現状です。他の地域とのお付き合いも始まり、休日には会議が入ることも多く、確かに時間もとられます。「やって当たり前」の世界ですから、いいことばかりではありません。

しかし、誰かが担わねばならないのです。みんなが、少しの時間と労力を提供することが大切と考えます。そして、おおらかな気持ちで、活動を支えていく全体の努力が求められているのではないのでしょうか。

三丁目には、基本に流れる「街づくりの意欲」と「おもしろい心の心」があります。私は、この炎を消すことのないように願う一人です。私達の歩

みが、松葉町史をつくっていくからです。

最後となりましたが、若輩の私が会長という要職をなんとか勤めさせていただけただけなのは、たくさんのかたの援助があったからです。改めて感謝申し上げます。これからも三丁目町会についても、温かなご支援をよろしくお願い申し上げます。



# 町会設立五周年を祝して

柏市長 鈴木 眞

松葉三丁目町会の設立五周年 誠におめでとう  
ございます。

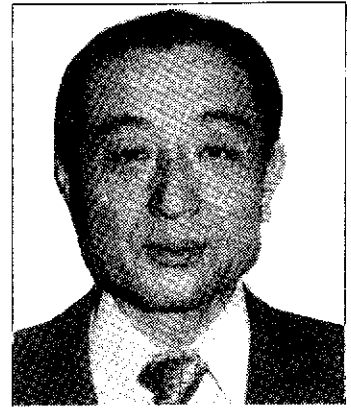
町会の皆様には常日頃、市政運営に温かい御理  
解と御協力を賜り感謝に堪えません。厚くお礼申  
上げます。

当地域は本市の中でも、大変生活環境に恵まれ  
た地域だと思えます。それ故、今後とも住宅・人  
口とも二倍、三倍と増加し、さらに発展すること  
は申すまでもありません。

しかし一方で、地域の人々が互いに親しみ、協  
力し合い、自らより良い街づくりを進めるための  
努力は、ますます必要です。三丁目町会は、松葉  
町地域で一番早く結成された町会と聞いています。  
それだけに、役員を始め会員の皆様には、御苦労  
もあつたに違いありません。

この五周年を節目とし、さらに十年、二十年と  
町会活動を通し、より良い地域づくりに励んでい  
ただきたいと思えます。

町会の皆様のみならずの御健勝と御活躍をお祈  
りいたします。



# 町会創立の頃

初代町会長 稲 飯 靖 彦

今、六年前を思うと、「我々の三丁目も街になつた」と、入居の頃が懐しく想い出されます。

私は、五十六年四月に下水道の供用開始を待つて引越してまいりました。当時西地区では三番目で、まだ台所から一小の校庭が見通せる、空地ばかりの状態でした。ちょうど子供達の中学、高校の新入学と重なり、家族に反対されながらの入居でしたので、集合住宅に比べ我々の住環境の悪さに辟易しました。

当時、ゴミを五丁目の集積場に出して管理組合にどなりこまれたり、街中真暗でしたので、早く戸数が増えてくれないかと、ひっそりと生活しながら願っておりました。ただ中学校は、在校生が四十数名でしたので、なにか寺小屋風で、先生も生徒も楽しそうでしたし、運動会など一小と合同で行い、今想えば時の流れを感じます。

そのような状況の中で、ゴミ処理の問題から必要に迫られ、町会を作ろうと、西地区の八名の住民で話し合いました。その時は、やむを得ず作るのだし、むずかしく考えず、夢だけは大きく持と

うと、八名が年齢順に役員を決め発足しました。その時点での予則では、五年後には百世帯以上になるだろうから、目標を定め、努力しようとして、スローガンを「次の世代への街づくり、子供のためふるさとづくり」と決めました。

目標は、

- 一、ゴミ集積場はたくさん作ろう。
- 二、三丁目の電柱には、全部街灯をつけよう。
- 三、子供中心に会員の親睦を深めよう。
- 四、財政は五年は値上せず黒字でいこう。
- 五、お金をためてテントやヤカン等買おう。
- 六、苦勞を忘れぬ内に、記念誌かなにか発行しよう。

と、話し合いの結果決まり、役割も「それぞれの能力・技術を出し合って行動しよう」と、始まりました。

動き出してみれば、昼間の用事が多く、自由に動ける人が村田さんだけだったので、当時も今も大変お世話になっております。

その後、基礎が出来上りましたので、東地区に

も呼びかけ現在の三丁目町会となりました。あの当時を想い出しますと、仕事の割に人数が少なかつたので役員の皆さんの負担は大変だつたと感謝しております。

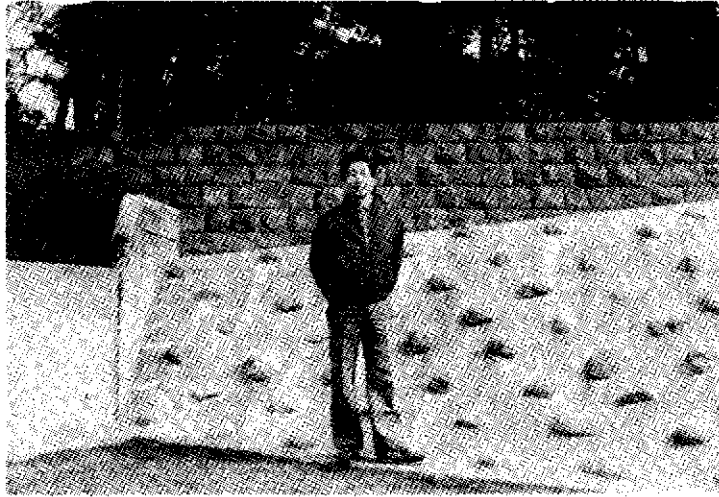
現在の町会活動も、三丁目だけの問題から松葉町地域の活動と変化しており、役員の役割も増加してきておりますが、その中で初期の目標はなんとか達成してこれたのは、皆様の地域にかかわる関心と協力のおかげと思っております。

これからも、私に出来る事は一生懸命頑張りたいと考えております。

●松葉三丁目町会の設立5周年を記念して、皆さんで記念写真を撮ることになりました。

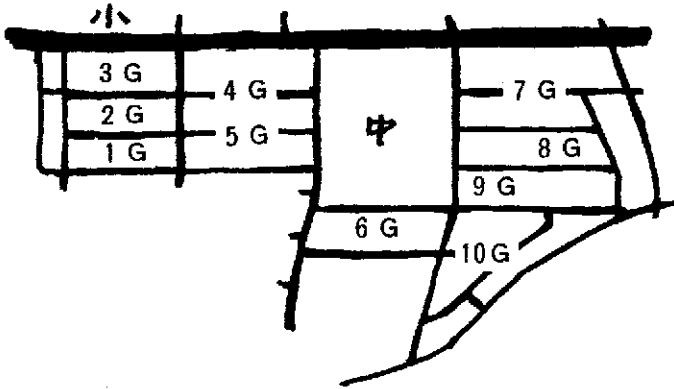
しかし、お仕事とか、ご家庭の事情で、残念ながら参加できなかった方もいらっしゃいます。

とりあえずの「全員集合ノ」。次の機会には、本当に「全員集合ノ」で。



	1 G	6 G	7 G
2 G	3 G	8 G	9 G
4 G	5 G	10 G	

# 全員集合!



# 〈座談会〉

## 設立八人衆、 大いに語る。

【出席者】 稲飯靖彦氏（キリン堂）

江原康之氏（江原サイクル）

加藤 豊氏（加藤園専務）

小林文二氏（会社員）

斉藤敏文氏（エイム商事）

溜川良次氏（会社員）

村田武弘氏（柏葉電気）

【司会・書記】 西川正行・斉藤修二

※渡辺さんは仕事の都合で欠席、残念です。

本日は、松葉三丁目町会設立五周年を記念して、町会設立の立役者である八名の方にお集り願ひ、当時を振り返り、座談会を行いました。

### 三丁目に住んだ頃

（司会者） まず最初に、皆さんが三丁目に越してこられた当時のこと

について伺いします。

（溜川氏） 私は五十六年五月に現在の場所に入居しましたが、その当時は裏隣の小林宅など数軒の家が建っているだけで、周囲を見渡すと消防署と中学校が見えたのを記憶しています。

（小林氏） 私は五十六年四月に引越して来たのですが、その当時はまだバスが開通していませんでした。しかし、その年の八月か九月頃開通したバスの一番バスに、子供達が朝早く起きて記念に乗りに行ったことを思い出します。

（稲飯氏） 私は五十六年四月に入居しましたが、その当時の一番の思い出は初めての運動会が過疎の学校のように松葉一小と中学校の合同で

行われたことです。

（村田氏） 私は公団の第一期の入居に合わせて五十六年四月に電気屋を開店しました。その当時、私の家の隣りは小林宅と二百米離れた稲飯宅だけしかなく、周囲は草野原でした。

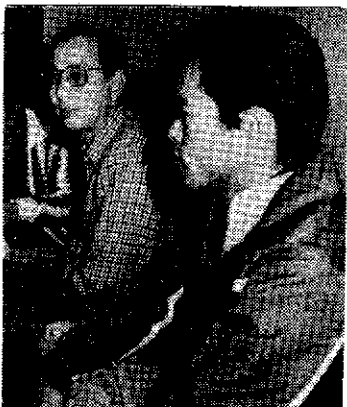
（斉藤氏） 私は五十六年八月にサニュー文具店を開店しましたが、開店当日台風が来ていて、花輪が風で倒れメチャメチャになったことを思い出します。また、周りは草ぼうぼうの野原ばかりでした。

（加藤氏） 私は町会設立の翌年の十月頃三丁目の住民になったので、今なぜ町会の設立メンバーに入っているのか考えたのですが、店舗が五十六年四月頃から営業していたので

メンバーに入っていたのですね。あの頃はまだ街路灯がなくて夕方五時頃になると人通りも少なくなり暗くて怖いようでした。

（江原氏） 五十六年九月に開店したのですが、その頃家から見えるのはエイムさんと中学校、稲飯さん、鴻巣の裏山、柏葉さん、そして加藤園さんなど、商店としてはそれぞれがいしかありませんでした。でも、この辺もだんだん開けて来ているので、今の空地も家や店が建てだんだん賑やかになるのではないかな。

（左：加藤さん、右：稲飯さん）



（奥：小林さん、手前：江原さん）

## 町会設立の動機

(司会者) それでは、三丁目町会設立の経緯を皆さんから伺いたいと思います。

(稲飯氏) 町会設立の動機は、ゴミ処理の問題から出ました。五十六年十月七日に話し合いが持たれ、十月十日にエイム商事さんの二階を会場にして規約を作り発足、その時いたのが今の八人です。その後、設立の理由書、設立届を市に提出しました。

(溜川氏) 町会設立の動機としては三つありました。

一、ゴミステーションの設置は、町会がないと出来ない。

二、他の町会が管理するゴミステーションを使用するには問題があった。

三、世帯数が少ないため、防犯・防災などお互い協力する必要があった。

(村田氏) あの当時は人数が少なかったもので、年の順で役員を決めました。一番の年長者稲飯さんが会長

私と同年齢の渡辺さんが副会長、小林さんが会計で江原さんが班長だったね。



(左：斎藤さん、右：村田さん)

(小林氏) あの当時、町会の仕事で一番大変だったのが、床下消毒と側溝掃除でした。

(稲飯氏) 床下消毒はまいった。世帯数が少ないのに市から貰った薬を全部使ったもので、気持ち悪くなったりしたね。

(溜川氏) 稲飯さんの家は、コンクリート作りだし、村田さんの家は床がないもので、ご自分の家は必要のないに他の家のことを、よくやってくれました。

(小林氏) 側溝掃除は、あの当人数が少なかったため、一人二百米

やった。炎天下で頭がボーとなったことを記憶している。

(村田氏) 一人二百米じゃきかないよ。二十二世帯でやったんだから一人当りの労働量は今の十倍だった。

(江原氏) 二時間フルにやっても全部終らなかつた。終わった後のビールが美味しかったことは今でも忘れられない。楽しい思い出です。

(村田氏) それから楽しい思い出といえば、五十八年の八月十三日に

キャンプファイヤーをやりましたね。

(稲飯氏) そう、そして八月二十日には初めての納涼会・三丁目入

居者が増えて来たのでコミュニケーションを図るという目的で納涼会も

始めたのですが、この頃は町会以外の人も入ってくるようになり、盛大

にはなってきたが、その反面大変にもなってきた。

## これからの

### 三丁目町会

(司会者) 大変、話が弾んでいるようですが、最後に三丁目町会の今後の役割または展望について伺い

致します。

(稲飯氏) 今までの町会の方針は、

将来に備えてお金を残そうという意識があった。会費を値上げしないで運営し、町会独自のテントなどを備

えるなど夢の実現に努力してきた。

しかし、これからの町会は世帯数も増えてきたし町会運営の難しいところ

にきたのかもしれない。

(溜川氏) 町会の仕事は皆さん仕事を

持ちながらやるのですから大変です。しかし、自分の住んでいる地

域のために少し時間を費やして頂いて

やってくれませんか。これからの町会の役割は、自分達の町をみんなで作る地

域で育て上げることが町会の役割だ

と思います。

(司会者) 本日は大変お忙しいなか

お集り願ひありがとうございました。



(左：江原さん、右：溜川さん)



# 五周年にあたって

●三丁目にお住まいの方から、原稿をいただきました。ありがとうございます。

## ふれあい

七戸 昭夫（西地区）

地吹き舞いあがる津軽に生れ、三十八年間住み慣れた片田舎から家族で柏市へ引っ越ししてから早や七年の歳月が流れ、ようやく都会生活に馴んで参りました。田舎と都会を比べてみる時、何もかも正反対のような気がします。現金収入となる仕事がほとんどなく、病院も一日がかり、汽車は二時間に一本しか走らず、高校も隣の秋田県の能代市まで通います。しかし、自然環境には恵まれ、山の幸、海の幸が豊富です。住む人は皆人情に満ちあふれ、和気合い合い助け合って生活しています。

松葉町三丁目にお世話になって四年になりました。納涼会やソフトボール大会、新年会などの行事を通して、都会にしてはまとまりのある町会だと思っております。（柏へ来てから始めて住んだ町会では何もなかったのですから……）それだけに会長はじめ役員方のご苦労は大変なことだと思います。ある町会では役員の手がなくて抽選で決めていると聞きびっくりしています。

田舎では町会長にあたる人を部落惣代といいます。惣代になってもお金にはならず、部落民の小使的存在なのに、対抗馬が出るものだから選挙になります。これも都会との違いの一つです。役員が大変だから行事はなくしようとか、町会はいらな

## 私の住む街

高田 武夫（東地区）

人は皆異った顔を持っているように、街もそれぞれに違った顔があるようです。

私が子供の頃を過ぎた東京の山の手の住宅街には、どっしりとした門と、背の高い石の塀をもったお屋敷町があり、いささか取り澄ましています。だが、ちよっと横丁へはいれば、門などはなく、曇り硝子をはめ込んだ格子戸の玄関の家が軒を接して連なり、「お早う」「今日は」の親密さがあふれていました。

そのような古い町並みも、それはそれで懐かしいものですが、開発されてわずか五年程の今、私が

いとか耳にしますが、未来ある子供達から夢と楽しみを奪い取っては可愛相です。役員は交代制、行事係もみんな分担し合い、楽しくまとまりのある町会を継続してゆきたいものです。私も職業柄毎日子ども達と接して楽しい一時を過ごさせていただいております。

この明日を担う可愛い子ども達には是非田舎の大自然の生活を体験させたいと考え、今夏から計画しております。ここに住む以上、ふれあいを大切に、出来る限りのことを協力し足跡を残したいと考えております。それが又、私共の生きていく上での大きな糧となることを信じております。今後共よろしくお願い致します。

住むこの街も、違った顔の良さがあります。平均的サラリーマンが多く住むベッドタウンで、いわゆる「ニューファミリーの街」とでも言った方がふさわしいのかもしれませんが。

環状道路の内側に中高層の住宅棟が建ち並び、公共機関とミニ商店街と公園を配した中心地域には、植木や草花のある遊歩道で幼児の手を引いた若いお母さん達の語り合う姿が見られて、明るく生き生きとした街の顔があります。

しかし、環状路の外周は家、門、生垣なども様々な戸建住宅の街が、落ち付いた雰囲気醸し出

しています。道から一段高い敷地に、本建築とい  
うのでしょうか、白壁に瓦葺きの屋根の家がある  
かと思うと、いかにも近代的で住み心地の良さそ  
うな新しい建築様式の家もそこに混じって、  
ともすれば単調になり勝ちな住宅地の街並みに変  
化をもたらしています。庭や生垣には、個々の家  
の趣味、好みで花を主にしたもの、或いは緑を主

にしたものが見られますが、日中は大方が森と静  
まり返っています。

日曜の朝、未だ寝静まっている街並みを散歩し  
ながら、若さと落ち付きと活力と静けさがちよう  
ど良く組み合わされて、多面的な顔を持っている  
美しく新しいこの街が一層好ましく、これから  
も愛し続け、住み続けて行こうと決めました。

## 三丁目地区対抗リレー独立

高橋 恵子（西地区）

三丁目自に家を建て始めた頃は、空地ばかりで、  
街灯もなく、夜は恐いくらいでした。

今は、多くの住民の方々に、五年前の様子がな  
つかしく思います。当時は、少数世帯乍ら町会が  
あり、親子会が発足し、納涼大会、子ども達との  
キャンプ大会等の行事あり、今日の三丁目町会の  
基礎作りに楽しく関わってきた思いがします。

私が三丁目の住民として最初の地域活動が松葉  
一小の地区委員でした。現在は、町会で廃品回収  
をしておりますが、五年前は地区委員が担当し、  
手作りの看板で場所を確保し、回収しました。

私の地区委員としての思い出は、運動会の地区  
対抗リレー、三丁目独立に奔走した事が忘れられ  
ません。何分にも、子ども達の人数が少ない為、  
常に若菜、十余二と連合で、わずかな子しか選手  
に出れず、地区担当の先生も三丁目の子ども達を

忘れがちでした。さみしい思いをしている子ども  
達に、なんとかしたいとの気持ちが強く、三丁目と  
して独立出来ないか、校長先生、教頭先生、地区  
の先生と話し合い、全学年男女選手が揃わないと  
無理との回答に、知恵をしばり話し合いを続けま  
した。独立後継続していく為には、三年先位迄の  
入学する男女児童、転入生を考え、何とかなると  
見通しを立て、当時四年男子一人足りないところ

## 松葉町に思うこと

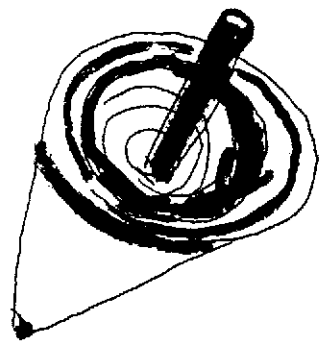
岡田 岳美子（東地区）

月日の立つのは早いもので、松葉町に越して来  
て、もうまもなく、四年になろうとしております。  
当時は広い野原でしたが、半年位で、家がだんだ  
ん建ち始めて、今では土地だけというところは、

三年生の小坂ゆきなり君に、上級生と走ってもら  
う事で、学年を揃え、学校に再度のお願いです。  
認められました。

その頃は、父母と子ども達と走ったのです。負  
けてもいい。やっと揃った人数です。みんな、  
「三丁目頑張れ」、と声をかぎりに応援できるの  
です。補欠も出せない状態で、運動会当日、親も  
子も精一杯頑張りました。ゆきなり君の、上級生  
にまじり、自分の責任をしっかりと果している姿に  
小さな心に負担をかけた事を思うと、申し訳なく  
涙がとまりませんでした。全て終了したとき大き  
な感動も味わいました。現在も独立が続いていま  
す。ゆきなり君、六年生は自分自身の為力走し  
て下さい。心より感謝をこめて応援したいと思っ  
ます。

少なくなつて来ています。静かな町が出来、買物  
にも便利で住みよい町になって来ています。住ん  
でいる人達も皆良い人達ばかりでいろいろお世話  
になつたりしています。道で合うと、知った人と



は笑顔で挨拶したり、松葉町に住んで本当に良かったと実感しております。

近くには公民館も建つことですが、欲を言わすと、むしろかきかと思ひますが、三丁目の中に気軽に集れる集会場があると良いと思ひます。新しい人達が越して来ても、誰知らぬということなく、すれちがう時等、明るい笑顔で挨拶出来る

## 素人の手造り

奥山 正弘（西地区）

私が五十八年四月あこがれのマイホームに引越して来た頃は、ようやく街づくりが始まったばかりであった。今は相前後して新築され三丁目もようやく街並みが整い始めたところである。しつとりとした風格ある街になるにはあとの位かかるだろうか。一日も早く住みよい街に育つよう願ってやまない。

ところで、私は手造り、日曜大工が大好きである。私の場合は、高尚な趣味からきているのではない。貧乏性から新しく買ったものがもったいない、阿呆らしいところからきている。私は、何を作るにもやれ材料だ、やれ道具だと吟味、取り揃えたがる。だから結構高くついてしまう。そうたびたび使う機会も少ないだろうと思われものまで便利だからと言って買ってしまふ。ムダである。私はすぐギックリ腰をやるものだから先日、一トククレーンを買ってしまった。この

という目的から、各班の班長さんにお骨折をお願いし、お料理、手芸、男の人には碁、将棋、雑談等三ヶ月に一度位、出席出来る方は集れる機会を作り、いつかは誰もが集れるよう計画して頂ければ、三丁目の人達のコミュニケーションがより深くなったりするのではないだろうか、自分の希望を述べてみました。

ような道具は、誰かから必要な都度借りられればいいのであるが、お互いに遠慮もあり誰が持っているのか情報もないからそうもいかない。お互い貸し借り出来るシステムがあれば便利だし、ムダも省ける。自治会の回覧板で「たすね人」よろしく、貸して下さる方を呼びかけるのも一つの方法かもしれない。我家を新築した頃は、両隣が空地だったから、柵も何も無い。不用心なので大工さんに簡単な柵を作ってもらった。何とかしなければと思っていたところ、偶然にも不用心になった垣根用のキャラの苗木をあげるという人がいたので四つ目垣を作ることにした。杭作りは、ドラム缶で薪をもやし丸太をこがして作った。火力が強すぎたりして丸太そのものがあちこち燃えだし焼け過ぎて細くなる失敗もあった。しゅる縄で竹をどう結ぶのか肝心なところがわからない。植木屋さんや知人にいろいろ教わって練習をした。当時、



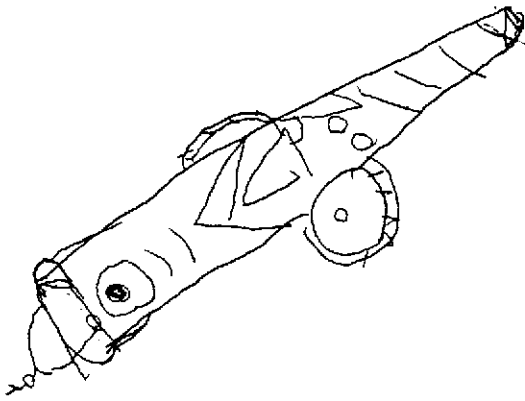
職場が近く出勤時間にも余裕があったので、朝は早くから夕方まで電灯をつけ蚊とり線香を腰にぶら下げて作業をした。プロのように竹がぐらつかないようにきつく結ぶのがむずかしい。約四カ所も竹を結ぶと縄のしめつけで指先が痛くなる。何日続いただろうか。竹垣が完成したときは、感慨無量だった。四つ目垣は何んともいえない美しさがある。二、三ヶ月もたらず黄色に日やけたのは残念だった。キャラの苗木は数が少ないから節約して枝を出来るだけ切らないように横にはわせた。この辺がプロとの違いである。その分見ばえやその後の生垣の成長を悪くしているが仕方がない。自分では素人の手造りとしてはまあまあこんなもんだらうと思っている。人件費は只にしても道具代や材料の無駄も含めかなり金が掛っていると思うが、健康と趣味をかねるのだから仕方がないのかもしれない。そんなことで日曜大工では、ご近所の皆さんに朝から晩までガタガタとご迷惑をおかけいたしております。改めてお詫が申し上げます。

# まつぼっくり

西園寺典子（東地区）

早いもので、私が松葉町に越してきて、三年の月日が過ぎました。越したばかりのころ、公園の松林を始めまだまだ自然の多く残された環境には満足していましたが、一番の不安は、ご近所の方と仲良くなれるかということでした。通り一遍のごあいさつだけでなく、立ち話のできる仲、お茶飲み話のできる友達ができるといいなァという気持ちでした。

ちょうどその年の六月頃でしたか、二小の地区懇談会ということで、お母さん達の集まりがありました。その時、せっかく、こうして同じ町に住む人達が集まったのだから、一回きりでなく、時々集まって、いっしょに手芸など楽しみながら、おしゃべりを楽しみましょうという話になりました。



こうして、「まつぼっくり」という名前までついた親睦会が誕生したのです。

それから約三年、月に一度の会が開かれ続けています。「プチフラワー」「藤の壁飾り」「ちぎり絵」「紙粘土人形」「割箸細工」等々の手芸、お菓子の講習、自慢の手料理を持ち寄っての忘年会、時には、外でピンポンやバドミントンをしたり、グランドゴルフに挑戦したりもしました。

公共の場所がないということで、会場は、各家庭持ち回りになっているのですが、外から見ただ

けではわからない、それぞれのお宅の個性あふれる居間におじゃますることは、この会の大きな楽しみの一つでもあります。二十名近くの人が集まるのですから、会場となる家は、気持ちの負担も決して小さくはありませんが、何年かに一回ですし、大きな楽しみの前には、ちょっとがまんをということで続いております。

新一年生のお母様、転入された方々を巻き込んで、ずいぶん大所帯の会になりましたが、これからも、魅力あふれる集まりを持って、楽しい街づくりの一助になればいいなあと考えています。

## 三丁目に住んで・・・内林 憲子（小六）

私が、ここ松葉町三丁目自に引越して来てから四年がたちました。来たばかりの頃は、周りに家がなく、草むらが多く、暗くさびしい所でした。私は、以前任んでいた所がなつかしくて、もどろいたと思った事もありました。でもここに来て初めての経験もしました。例えば隣の空地の野いちごを摘んで食べたり、雪が降った日には、「かまくら」や大きな雪だるまを作ったり、ある時は、野うさぎが草の中を走っているのを見て、ビックリしたことなどがあります。

一年を過ぎると、生徒数が増え、教室もどんどん増えてきました。道路には街灯が立ち、空地に

は、家がどんどん建ち始め、次第に、明るい街並みになり、友達も増えてきました。その頃、親子会ができ、クリスマス会、いちご狩り、映画会、納涼大会などの楽しい行事もたくさんありました。学校の運動会では、「三丁目」と聞くと、精一杯応援したり、はげましたりしました。そんな時私もいつの間にか「三丁目の一員になったんだな」と思います。

三丁目は他の地域と比べると、小さいけれど、私達も協力して、他の町会に負けられないような、明るく、笑顔の輪を育てたいと思います。

# 松葉町に住んで

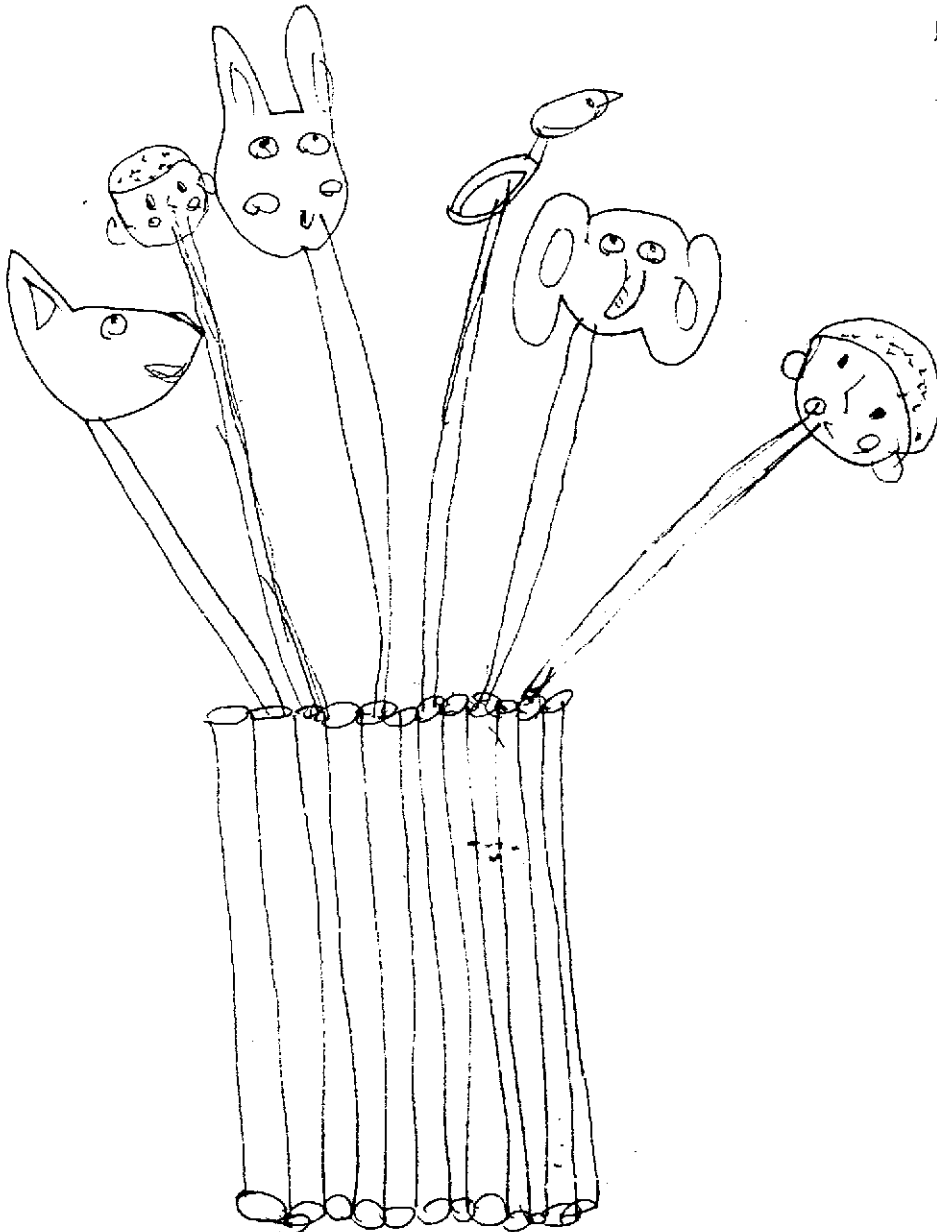
二川寿美子（中三）

私は、柏の中央二丁目から松葉町三丁目に移越してきて、今年の二月で丁度、三年たちました。

私が、この三年間、松葉町に住んで感じたことの一つは、納涼会で近所の方と話しをして、松葉町にはいい方がたくさん住んでいるなあと感じたことです。初めて逢った人ばかりなのに、気軽に冗談を交えながら話しかけて下さったり、母の手伝いで、おでんを売っている時、さりげなく虫よけスプレーをかけて下さったり、親切な方ばかりで、今でも学校へ行く途中に「いってらっしゃい」などと声をかけてくださるので、朝からすがすがしい気分になれます。ただ、三丁目は松中をばさんでいるので、どうしても松葉一小地区の方と話す機会が少ないのが残念です。

二つ目は、どの家庭もゴミの捨て方がとても丁寧だということです。我家は、私の通学路の途中にゴミ捨て場がある為、私がゴミを捨てる日が多いのですが、どのゴミも丈夫そうな袋に入っていて、ゴミの種類も分かれています。時々、ゴミ捨て場の近くに、車などから投げ捨てられたと思われる空き缶や煙草の吸殻がころがっていますが、私が学校から帰る頃にはきれいに片付いていて、きれいな道を通るのは、とても気持ちの良いものです。まるで、自分の心の中までもが、きれいになっていくような感じがします。

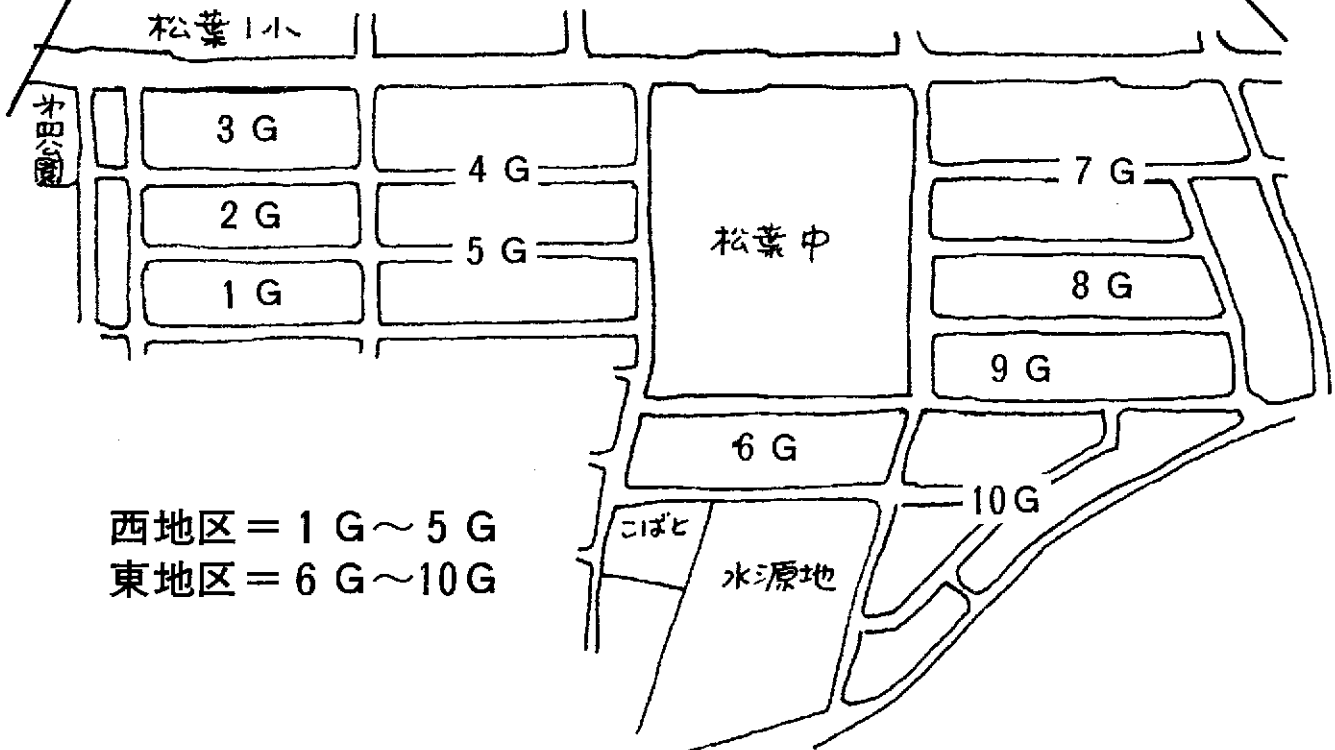
私は、緑が多く、きれいで静かなこの松葉町が大好きです。だから、私が大人になってこの町を担っていく時も、今と同じように美しい町であるように、今から町内の方達と協力して、青々とした松葉が良く似合うきれいな町を維持していきたいと思えます。



# 松葉町と三丁目会



## 私たちの街



# 親子会から 四年間の活動をふりがえつて

●58年

## 親子会の役員を務めて

58年親子会会長 増田 博美

月日の流れは早いもので、この松葉町に移り住んではや五年目を迎えるようとしています。

五十八年四月、当時私達のグループでは三世帯以外は次々と入居されていきました。まだ近所の人の顔も覚えられずにいた七月のこと、初代会長より六年生の父兄であった私達に、親子会を発足させる話が持ち上がりました。親子会のあり方など何一つ知識のない私が何の弾みか会長という大役を引き受ける羽目になった訳です。

町会長を始め町会の役員、PTAの地区委員の方々のご配慮と親子会のご父兄の皆様のご協力により、その七月二十日第一回目の総会が開かれる運びとなりました。児童数三十三名、二十五世帯より成る松葉町三丁目親子会が誕生したのです。新米

の私ですが、六名の役員が一つになり新しい土地に溶け込む機会として子供達に先ず心の扉を開かせてくれる挨拶運動をモットーに活動して行こうと心に決めて参りました。

親子会の第一歩を踏み出した活動として八月二十日に第一回目の三丁目納涼大会のお手伝いがありました。それから梨狩り、クリン作戦、クリスマス会、六年生を送る会等、何とか無事にやって来られたのも町会長や役員の方々、町会からのご支援、それに親子会々員の皆様と役員の大な協力を得られた賜物だと感謝しております。

中でも納涼大会に於きましては大変ではありましたが、大きな協力が一層大きな和になってこの新しい若い三丁目に素晴らしい親睦の場を与えて下さったのだと思われまます。役員

同士で市場へお菓子の買い出しに行つては袋詰めにする。大変ながらも楽しく親睦を深める事が出来ました事をとても幸せに思っております。

しかし、無我無中に成り過ぎ子供達中心の積極的な活動がやれる様な指導なども出来れば良かったのですが、私の勉強と努力不足の為に子供達の力を発揮させる事が出来なかつた事を無念に思っております。

又、同じ町会でありながら、二つの小学校に分かれているという事、もう一つは活動する場所の確保の件についても難しい点がありました。

## 私にとって楽しい思い出

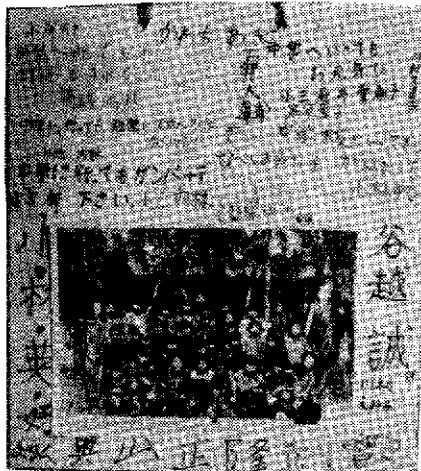
58年子供会会長 湯原 葉子

翌年からは市子連にも加入され次期からの役員さんは、大変な努力をされております。これから三丁目親子会が益々充実し発展致します事を願ってやみませぬ。

とんどなかつたと思います。

松葉町三丁目に子供会ができました。そのころは本当に人数が少なくて淋しいほどでした。こんなのできるのかなあと、少し不安でした。東西合わせて数十名。知らない顔はほ

ケーキを食べたり、一年生の歓迎会や六年生を送る会、いろいろな楽しい行事がいっぱいありました。



6年生を送る会の「よせがき」

# 子どもの「ふるさと」を願う

高学年になると、クリスマス会のケーキを作ったり、ゲームの進行をしたり、一年生から六年生までいる

ので、みんなが楽しめるようにするのはなかなか大変だったけれど、やってみて、結構楽しかったです。お

母さん達にやってもらおうことのほうが多かったけれど……。  
みんなに楽しんでもらえたかは分

からないけど、私にとってはなかなか楽しい思い出になりました。

あおぞらに

越後の山も見ゆるぞ

さびしいぞ

子供の頃、この詩の一節にずっと憧れていました。少し煤けた空に山など見えるはずもなく、私の生まれ育った東京の下町は、海も田畑も小川も無縁の、家と人と車があふれた街なのです。道路にろうせきで線や丸を描いて、石けりやゴムとび、花いちもんめやだるまさんころんだを

少ない整備された道路、それぞれの庭からのぞく四季の草花、蛙やとかげなど私が子供の頃に見たこともないような生きものも、ここではよく見かけます。しかし、恵まれた環境

しました。近所に公園は無く、車がくるたびさっと避けて（それこそ運動神経に関係なく敏捷で事故などめったになかった）どこの路地でも子供はいきいきと遊びました。

この地域は公園も緑も多く、学校も近く、恵まれた環境にあるといえるのではないのでしょうか。交通量の



新1年生の観迎ハイキング（水辺の公園にて）

59年親子会会長 笠井 利子

## 楽しい思い出

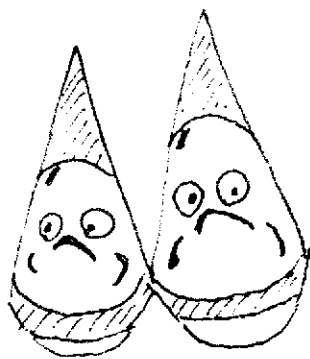
59年子供会会長

岡田 剛  
大柳 雅彦

昭和五十八年四月学校に、転校してすぐに子供会に入りました。十月には梨がりがありました。富勢中の裏に梨畑があり、そこまで歩いて行きました。三十分程かかりました。畑に入ると、頭上に手をのばせばとれるところに、梨が沢山ぶらさがっていました。うれしくって一つひねって、とりました。食べたろうまかった。おみやげに持って帰りました。私達六年生になると、下級生のめんどろをみる事になっています。六

に良い子が育つとは必ずしもいえず、大人として、親として考えさせられる事が数多くあります。  
しばしば目にする「ふるさと柏」  
の文字、子供達にとってまさしく「ふるさと」になるであろうこの街で、かれらがたくさん思い出を心に刻んでくれることを願うのです。

年生は、カードに印鑑を押したりする責任があるので、僕達は、朝早くから毎日休まず出席しました。楽しい思い出となっています。





# 子供達と共に人生勉強を

60年親子会会長 齋藤 寛子

自然・純粹・素直・新鮮・躍動的・感動的——私が今日まで、何らかの形で、子供達と共に、歩み続ける機会を得た結果の、子供達の定義付けです。子供達は常に、大人の姿を目で追っています。一つひとつの事を、小さな子供の心で受け止め、納得し、

善悪の判断の未完成のまま表現し、行動しているように思っています。

子供会を運営していく上での育成者のモットーは、『大人は、手を出さない。口を出さない。でも目を離さない。』です。子供達は、果てし

ない夢を秘めています。遊びの中で、自然に、子供達は社会のルール・人同士のつながりや、いたわりや、がまんといったものを学びとっているのです。大人はそれを、大切に育くんで、見守ってやらなければいけないと思います。出来る事なら、口やかましく言わずに、目と目で話したいものですね。

り、いろいろな遊びを覚えました。私は、松葉町にくる前に、四小地区にいたので、その時の友達にも会えたので、とても楽しかったです。

特にサマーキャンプは、肝だめしや、キャンプファイアー、オリエンテーリングなど、とってもおもしろく、いい思い出となりました。

インリーダーというのは遊びの学校です。たこ作り、歌やダンス、手遊びなど、いろいろなことを教わりました。

今度五年生になる人、六年生になる人、そして、いつか五、六年生になる人。とてもいい思い出となると思います。勉強にもなります。インリーダーで勉強しているいろいろな親子会活動に役立ててください。

みんなの力で、もっともっと楽しい親子会にして下さい。

60年子供会会長 川村久美子

## 私と親子会

昨年(60年度)の一年間、松葉町三丁目の親子会に携わり、子供達と共に密に遊び、ますます子供の世界に引き込まれました。これからも、毎日を、私は子供達のように新鮮な気持ちで迎え、明るく楽しく過ごしていきたいと思っています。

60年度親子会は、児童数63名でスタートしました。人数が少ないので、みんなが仲よくまとまっていたと思います。

私が一番心に残っているのは、インリーダー研修会です。いろいろな学校の、いろいろな地区の人が集ま

多く、ゆったりとした町並。そんな印象を私に与えてくれました。

始めて親子会の活動に参加し、たくさんの子供達から、色々と学ぶことができました。親子会は、毎年役

員全員が交替するため、七人の新役員は、ゼロからの出発です。予算の組み方、文書の書き方、市子連との係わり方など、経験のない事ばかりでした。

夏休みのラジオ体操



## 親子会から学ぶ

61年親子会会長 新蔵 和子

松葉町三丁目の住民となり、四月

には、もう三年目を迎えます。緑が



# 子供会について

61年子供会会長 鈴木 恵美

一回、二回と行事を進めていくうちに、七人の役員の気持ちが変わり、七人になり、「大変だね」から「がんばろう」に、変わっていきました。親子会活動をしなければ、話しかける事も、話しかけられる事もなかったであろう人達と、たくさん知り合うことができました。色々な方たちで町会からも協力をして頂き、三月で私の親子会活動も終わります。

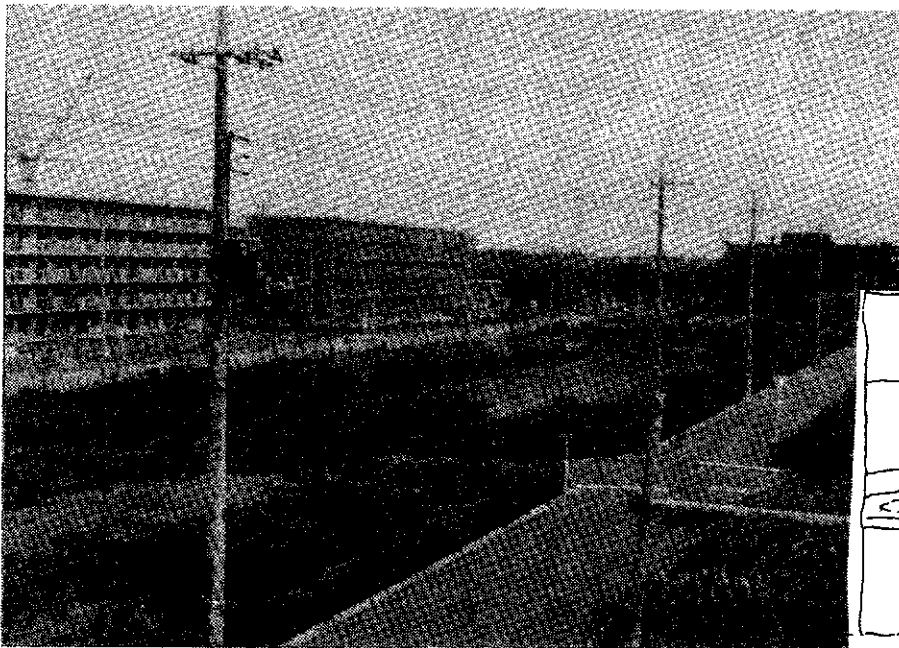
私は、この一年間三丁目の会長になり、いろいろな行事に参加してきました。柏ビレッジへ歩いて遊びに行ったり、クリスマス会を開いたり、アイススケートにも行きました。柏ビレッジでは、みんないっしょになって、フットボールをして遊びました。クリーン運動のおかげで三丁目目はよりいっそうきれいになったし、クリスマス会では手作りのケーキを食べました。どれも私にとって、とても楽しい思い出です。私は会長をやってみて、よかったです。三丁目にはほかの地区と比べると人数が少ないほうですが、その分お父さんやお母さんが遊んでくれたり、計画を進めてくれたり、いろいろなめんどうで私たちを手伝ってくれました。だからほかの

●三丁目親子会もこの四月から五年目になります。これまでの活動を振り返って、歴代の会長から原稿をいただきました。

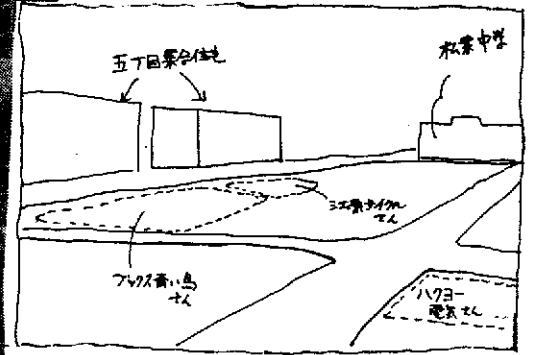


6年生を送る会でスケートを楽しむ

地区のように「〇〇子供会」というのではなく、「三丁目親子会」というのです。これからも、松葉町をよりよい町にするために、三丁目親子会ががんばっていききたいと思っています。



55年頃の3丁目付近



## 防火訓練



毎年恒例の防火訓練



親子で楽しんだソフトボール大会〈60年〉

## 講習会

石けんの利用を広めた洗濯講習会〈61年〉



## スポーツ

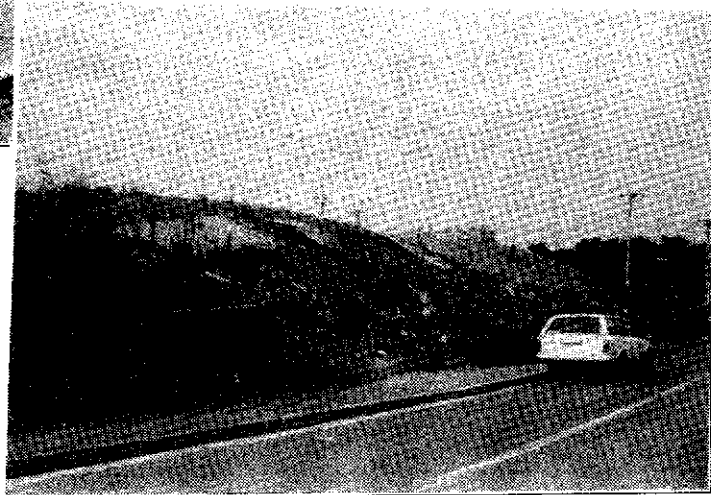
# フォト・レポート



57年から始まった年一回のクリーデー

## 環境

60年の春ごろからもちあがった問題の土砂



## 納涼会

夏休みの一大イベント「納涼会」



# 町会役員名簿

年度	町 会				親 子 会				世 帯 数		
	会 長	副会長	会 計	監 査	会 長	副会長	会 計	監 査	三丁目町会 加入世帯数	松葉町世帯数	柏市世帯数
56	稲飯 靖彦	村田 武弘 渡辺 幸治	小林 丈二 溜川 良次	加藤 豊 斉藤 敏文					8	66	75,028
57	稲飯 靖彦	村田 武弘 渡辺 幸治	小林 丈二 溜川 良次	加藤 豊 斉藤 敏文					22	1,190	77,870
58	稲飯 靖彦	村田 武弘 渡辺 幸治	溜川 良次 西小林 丈二 東都築 敏美	加藤 豊 斉藤 敏文	親 増田 博美	渡辺 文子 岡崎美智子 大柳実保子 湯原 葉子	大柳 幸子 谷越 瑛子	奥山はる子	65	2,026	80,755
					子 渡辺 秀幸						
59	溜川 良次	村田 武弘 渡辺 幸治	谷越 義夫 西山本 廣 東隈本喜代次	稲飯 靖彦 加藤 豊	親 笠井 利子	川村 文江 小林 禮子 岡田 剛	湯原八千代 小林美津子	西住 典子	91	2,523	82,945
					子 大柳 雅彦						
60	溜川 良次	小林 丈二 谷越 義夫	米山 栄男 西渡辺 清 東岡田 充生	村田 武弘 渡辺 幸治	親 斉藤 寛子	平井ひろ子 高橋 昭子 湯原 葉子 平井 敦嗣	片岡 洋子 内林 恵子	田口 好子	108	2,867	85,175
					子 川村久美子						
61	溜川 良次	稲飯 靖彦 岩田 二男	斉藤 修二 西高村 政志 東岡田 一也	小林 丈二 谷越 義夫	親 新蔵 和子	山口 房子 松香 和子 斉藤 圭右 高橋 瑞穂	石井 幸子 浅村 敏子	往田 時栄	137	3,191	87,533
					子 鈴木 恵美						

## 5年のあゆみ

56・10・7  
ゴミステーションの設置、それに関連して町会設立について話し合う。出席は稲飯、村田、渡辺、加藤、溜川、斉藤の六人(サンユル)。

10・10  
町会規約を決定。「松葉三丁目第一町会」として業務を開始。役員は全世帯(八世帯)がなる。  
・ゴミステーション2ヶ所を設置。各種の回覧始まる。

57・5・9  
昭和57年度総会(サンユル)。町会加入22世帯。  
・6月柳溝一斉清掃実施。防犯灯24灯つ

58・3・6  
資源ゴミ分別収集の説明会(五丁目一集会場)。

59・4・13  
第一回資源回収(四月分として三三八〇円の収入となる)。  
昭和58年度総会(五丁目一集会場)。  
町会加入59世帯。五班体制。

6・5  
側溝一斉清掃  
防火訓練  
7・24  
防火訓練  
8・13  
小中学生を対象にサマーキャンプを実施(十倉二青少年広場)。  
8・20  
第一回納涼会(食べ物やおもちなど15種の夜店。ペーゴマ、竹馬など昔の遊びコーナーを設ける)。

59・4・15  
親太多発足。ゴミステーション2ヶ所増設。防犯灯20灯増設。  
昭和59年度総会(渡辺様宅)。町会加入91世帯。八班体制。

6・3  
町会クリンデー(側溝清掃、ゴミ清掃に100名以上参加)  
8・18  
第二回納涼会(ボスター展開く)。  
11・18  
防火訓練(起震車による地震体験)。  
12・27  
防犯防火パトロール(三丁目近辺で多発して不審火とドロボー対策。各日とも三回の時間帯に分けて行なう)。  
60・1・3  
新年会。

昭和60年度総会(松葉幼稚園)。  
町会クリンデー。  
6・2  
町会クリンデー。  
6・14  
掲示板、ゴミステーションの新増設。  
8・10  
第三回納涼会。  
10・1  
国勢調査。

10・20  
ソフトボール大会(98名が参加)。  
11・28  
東地区十秒問題(回答及誓約書届く。12月31日までに提出)。

61・4・13  
昭和61年度総会(松葉幼稚園)。  
町会クリンデー(二三三名が参加)。  
8・9  
第四回納涼会。  
11・25  
東地区、西地区に分け洗濯講習会を行なう。

12・14  
防火訓練  
62・3・15  
町会設立5周年式典(ソフトボール会)。

## 〔編集後記〕

- 記念誌担当でありましたが、途中ハプニングがありお役に立てなくて皆様にご迷惑をかけました。(西川・2G)
- 記念誌作りなど生まれて初めてのことで何をやっていいのかわからず大変な時期もありましたが、無事終了することが出来ました。やはり、何事も経験だなと思う、今日この頃です。(斉藤・2G)
- 一つ一つの力が、幾重にも幾重にも重なり、この様な素晴らしい成果に繋がりましたのも、一重に三丁目の皆様のご協力のお陰でございます。本当に心より御礼申し上げます。私もこの『みんなの三丁目』の一員として楽しく暮してゆきたいと心新たな気持ちで一杯でございます。どうもありがとうございました。(山田・8G)

松葉三丁目町会 5周年記念誌

### みんなの三丁目。

編集・発行／松葉三丁目町会

発行日／昭和62(1987)年3月15日